

小児科

○診療科の紹介

済生会横浜市東部病院小児科は、横浜市東部・北部地区の地域中核病院として子どもたちに最高の医療を提供すること、全スタッフでチーム医療を行うこと、小児医療の最新の情報を学び研究すること、優れた小児科専門医を育成することを理念に掲げて活動しております。

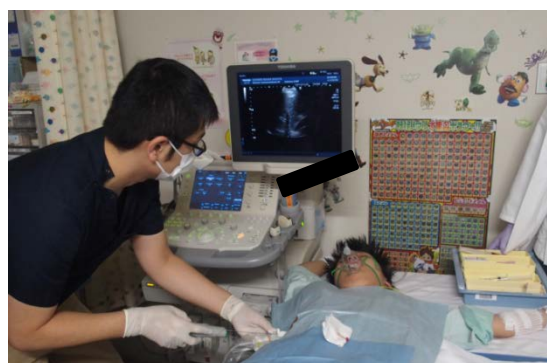
- 小児病棟（30床）・NICU・GCU病棟（15床）では、小児のあらゆる疾患に対応しています。
- **新生児科**（スタッフ3人、）：新生児・未熟児の各種疾患の診療を行っています。
- **総合小児科**（スタッフ8人、専攻医6人）：肺炎・尿路感染症・髄膜炎・胃腸炎などの感染性疾患、小児のけいれんを主にした神経疾患、気管支喘息や食物アレルギー・アナフィラキシーなどのアレルギー性疾患、川崎病、先天性心疾患、小児の腎臓病、小児の内分泌・代謝疾患、紫斑病やITPなどの血液疾患の診療を行っています。



- **小児肝臓消化器科**（スタッフ6人）：小児の肝臓疾患・消化器疾患の専門診療（内視鏡・肝生検など）を行っています。



内視鏡検査



肝生検

- 小児科では、小児の肝臓疾患・消化器疾患の専門診療（内視鏡・肝生検など）を行っています。

地域中核病院として 24 時間 365 日小児救急対応をしており、横浜市東部・北部領域、川崎市の一部の救急隊より搬送を受け入れています。

またスタッフは 小児科専門医が 12 名、小児科専門指導医 3 名、subspecialty として 小児循環器、小児アレルギー、新生児、小児神経、小児腎臓、小児肝臓消化器の各分野の医師が指導にあたるので、教育の面でも恵まれています。

地域の子どもも多く、疾患も多様であるため充実した研修ができます。

こどもセンター長 岩本 眞理



病棟カンファレンス



病棟①



入院患者数：総合小児科 ~~141~~212人、新生児科 204 人、小児肝臓消化器科 407 人
小児科外来総数： 23,466 人（小児科 18,934 人、小児肝臓消化器科 4,532 人）

小児救急患者数 6,756 人

救急車受入台数 1,047 件

このように入院・外来ともに患者数が多く、疾患もさまざまなので研修効果が期待できます。



外来待合室



病棟プレイルーム



○認定医/専門医/指導医数

日本小児科学会専門医 12名 日本小児科学会専門医指導医 3名、 日本循環器学会専門医 1名、
日本小児循環器学会専門医 1名 日本アレルギー学会専門医 1名 日本肝臓学会専門医 2名
日本内視鏡学会専門医 2名 日本内分泌代謝科専門医 1名
日本周産期新生児医学会周産期専門医（新生児） 1名

○連携施設名

済生会横浜市東部病院が基幹として連携する施設：

- ・済生会横浜市南部病院
- ・川崎協同病院

済生会横浜市東部病院が連携施設となっている基幹施設：

- ・横浜市立大学附属病院
- ・横浜市立大学附属市民総合医療センター
- ・東邦大学 小児科

◇先輩からのメッセージ◇

上記のように多様な疾患を診る機会が多く、後期臨床研修として必要な経験を積むのにとても良い病院です。

また、看護師・薬剤師・管理栄養士など多職種の方々との距離も近く、チーム医療を実感できる場です。

スタッフ一同みなさんと一緒に働けることを楽しみにしています。

（専攻医3年目）

